



8 由木尾雪雄《鶏置物》

明治二十五年（二八九二）

蒔絵

雄：高四四・〇 雌：高三五・三 雛：高六・五

ほぼ等身大に親子のニワトリを表した置物。木胎に卓抜した高蒔絵の技で羽を一枚一枚描き、目にはガラスを嵌め、透き漆で色付けており、脚部は銀製の彫金である。雄の背中には小さな香炉が納められている。明治二十五年に宮殿の装飾品のひとつとして購入された品。銘はないが、作者は由木尾雪雄（一八六〇〜一九二九）と伝えられる。由木尾は本名を平兵衛、金沢の蒔絵師の家に生まれ、明治二十二年頃に上京、以後は東京で活躍した漆工である。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan